

## 食糧と油

「それなしには生きられない。それは日本の場合、食糧と油です。」  
先の大戦で作戦立案を担い、昭和のフィクサーといわれた瀬島龍三氏は戦後、戦争をそのように省みている。杭の存続に関わる土台です。なのに、その確保策を見誤ったという。

中東情勢の混迷の影響が収まらない。ナフタ不足はパッケージのモノクロ化にとどまらず、納豆など一部商品の販売中止も招いている。窒素肥料の高騰で必要な時期に肥料を十分に使えなければ農作物の収量も今後落ち込みかねない。直接あるいは間接に食も油もどれだけ海外に頼っているかを改めて思い知る昨今です。

「日本全体に必要な量は確保している」と政府は説く。全体ではそうかもしれない。ただ中小含めた個々の企業が滞りなく原料を手に行かないとすれば、本来の「確保」とは言えません。景気へのマイナスや不安の広がり避けたい思惑があるにしても、大丈夫だと言い続けることが、かえって疑心暗鬼を呼びはしないか。

戦中の大本営発表には多くの人々が疑いの目を向けたといわれます。生活に差す影は覆い隠せぬものです。節制の呼びかけを含め、政府は国民へのメッセージをもっと工夫してほしい。日本の地政学的条件は「21世紀も22世紀も変わらない」と瀬島氏はいう。常に生存のため基本に立ち戻れ。それが大戦の教訓とのこと。

鎌野



## 世界情勢の行く末

この文章は5月25日（月）に書いたものですが、週明けの日本株価は2,000円近くも上昇し現在、史上最高額を更新し65,000円を超えています。アメリカとイランの戦争終結に向けた協議がまとまりそうだという憶測が広まり、石油の価格が下がり、一気に株高となりました。このまま本当に戦争が終結し、ホルムズ海峡が早期に開放されることを祈ります。

日本の大企業は、このような世界情勢の中でも上手く立ち回り、円安の恩恵も受けていて決算で、史上最高益を記録している会社が多く、半導体やAI関連の株式の高騰が全体の株価を押し上げております。でも、少し上がり過ぎでしょう。この半導体・AIバブル（バブルでなければいいのですが）が弾けた時のことが心配です。世界の金融市場は既にマネーゲームと云っていい状況です。一夜にして大金が稼げるということは、一夜にして失う可能性もあるということにほかなりません。

かくゆう私も、既に年金生活者の端くれで、貯蓄を増やす為にNISAで投資信託をしており、今年になってから既に50万円近くの利益を得ております。今日の株高を受けて、明日の成果が楽しみでもあります。しかしこういうものは、我々の様な素人は、無理してやるものではなく、遊ばせて置くのなら運用した方がよいという、余剰金でやるもので、余り熱を入れ過ぎないように心がけています。

英樹



# 配り

第  
324  
便

勝亦製材駿河鉄骨株

住まい塾御殿場教室  
TEL (0550) 87-0048  
FAX (0550) 87-1237  
〒412-0035 静岡県市中山518番地

お茶の葉をザクザク手摘みワイワイと  
流れる汗に爽やかな風  
ねがみともみ



イラン・アフガン・パキスタン国境  
を接することさえ抑知らず老ゆ  
勝亦りつ子



## どうにかなるのかな？

今年は富士霊園の桜の咲くのが早かったのですが、同じくゲンジボタルの飛翔も早いようです。

市内の小川ではもうすでにゲンジボタルが飛んでいます。例年より一週間以上早いのではないだろうか。そうなるとヒメボタルの飛翔も早まると考えられる。二の岡では例年なら6月中旬から飛び始めるのだけれど、果たして今年はどうだろうか。

温暖湿润気候で南北に長く、美しい四季のある国。それが日本の気候であると学校で習ったのだが、近年の日本の気候はどう考えてもそこからかけ離れてしまっている。長雨やゲリラ豪雨。ヒトの体温よりも高い気温にまわりつくような高い湿度。猛烈な台風や線状降雨帯による大雨があるかと思えば長い日照りで水不足に陥り、冬にはドカ雪が降り交通網がマヒする。そして世界でも有数の地震の巣であり、大きな被害をもたらす地震が頻発している。日本の国土は人が住まうには少々難易度の高い場所になった。

現代において人が暮らすには住居が必要です。雨風や外気や災害から身を守る場所。先に書いたように穏やかではなくなった気候と大きな地震に耐え、世界的に見れば地球温暖化ガスの削減が言われているため省エネ性能の高い家を建てなさいという事になっている。つまり高断熱高气密高耐震の家が必須という事になった。狭い国土で居住可能な地域に密集できるように耐火性能も満たした家屋が必要になる。おそらく世界一条件の厳しい建物を建てているのが日本である。

当然それはとても高価なものになる。そこへきて物価高騰、中東情勢の影響からくる建築資材や住宅設備製品の品薄。はっきり言って今家を建てるのは非常に難しい。しばらく経てばこの状況を抜けることがあるのだろうか？それとも一般庶民が家を建てられる時代が終焉してしまったのか・・・シリアスに考えるとちょっと恐ろしい。

柳田敏和



## お茶摘み



近年は季節の境目が無いような気候ですが、5月の爽やかな風を感じると、冬がすぎて春になったなあと思います。お茶の葉が萌木色になり摘みごろとなりまして、我が家は機械でお茶摘み、刈りとりです。数年前は手摘みの人を頼んでいましたが、手摘みの一日仕事はかったるい。10人20人で2日間手摘みを機械なら2・3人で5.6時間で終わります。その為の前準備であるお茶の木の台づくり、草取りは必要です。今年は手摘みの手伝いを頼まれ、お茶摘みの日も我が家と重なっていませんでした。「まっ、たまには手伝いのお茶摘みに行ってみようか」と茶の葉を入れるザルを片手に行ってきました。大人子どもで10人ほど。なんといっても手数です。皆さん手際よくお茶の葉を摘んでいきます。朝からはじめてお昼過ぎには摘み終わりました。子どもは飽きます。5分おきに「もう終わる？」と聞きます。私も子供のころ家のお茶摘みに飽き飽きしていたのを思い出しました。摘み始めは先がみえなく、頑張らないと午後に差し掛かる。と手を動かし、中だるみがありつつ、最後が見えるとまた頑張る。という具合。ワイワイ楽しく手を動かして汗が背中をつたい爽やかな風をうけるという感じでしょうか。

手摘みの人を頼んで摘んでもらう。ということをやってきたので、お茶摘みしながらおやつや支度、お昼の支度等天気を気にして行うイベントの大変さは身に染みて分かっているつもりです。お手伝いの摘み手として人の家に行きますと。あらためて頼む側の気持ちがわかり、ロボットなら一台で済むかも・・・などと考えます。爽やかな風を受けたあとは時差で疲れが出てきました。

でもね、摘んだお茶は美味しいですよ。ペットボトルとは雲泥の差です。

ねがみ

## パソコン

昨年12月、自宅で使っていたパソコンのバッテリーがほぼ充電ができなくなったので、中古のサーフェスを購入した。しかし、5か月余り立ったところで画面がつかなくなってしまいました。充電ランプもつかず、はたして充電できているかも定かではなく、泣く泣く新しいパソコンを購入することに。今度はタブレットPCはやめてデスクトップにしました。場所をとるけどモニターが大きくなって作業しやすい。長男が購入から設定までしてくれたのですが、母の日のプレゼントということにするよ。(モニターは三男のお古です。)サーフェスは、しばらく放置して完全放電をしています。使える様になったら良いなあ。



祥子